

つながりの中でくらす  
望まれた人として生きる  
自分らしく生きていく



No. 59

2019年1月発行

昨年はお世話になりありがとうございました。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



昨年は、地震や台風など多くの災害があった年でした。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。事務所の近隣でも災害の爪痕が多く残っています。崩れた壁がそのままになっている家や屋根にブルーシートがかかっている家、立ち入り禁止の黄色のテープで玄関がふさがれたままの家もあります。また、平地になった宅地や建て替えが行われている家が目立ちます。放課後等デイサービスでは、昨年、防災センターに行ったり、避難先となっている小学校での避難訓練や町内の福祉施設での避難訓練に参加したりしました。年末、旭区地域自立支援協議会で「和んで座談会」を開催し、「災害が起きたらどないしょ!? ～皆で考えよう 障がいがある人の防災～」をテーマに、いろいろな人が集いグループに分かれて話し合いをしました。60名近くの方々が参加して、出会い交流し、意見交換をしました。区役所が防災コーナーを設置したり、防災ワークショップを開催したりしました。災害に備えて、どんな準備をしたら良いのかと不安は尽きませんが、それぞれのいざという時の備えに加えて、地域のつながりを大切にしていきたいと思えます。

昨年末、私は久しぶりに独立型社会福祉士実践研究集会に参加しました。独立型社会福祉士とは、地域を基盤として独立した立場でソーシャルワークを実践し、社会福祉士の倫理綱領に基づいて、自らの裁量で活動をしている社会福祉士をいいます。日本社会福祉士会で定められた研修や実践を積んで、独立型社会福祉士として認められ、名簿に登録されます。私は2004年にNPO法人を立ち上げ、2009年に独立型社会福祉士になりましたが、実践研究集会に参加して、その当時からの尊敬する先輩方に会ってきました。活動している地域や内容は様々ですが、ミッションとパッションを大切にしている熱い方々です。ほうぷの賛助会員になって応援してくださっている方々もいます。話をしてパワーをもらってきました。つながりは元気をくれます。ここでも、つながりの大切さを感じました。

当NPO法人が「出会いつながり夢を語ろう」と設立集会を開催したのが15年前でした。つながりの大切さは活動の根底にずっとありました。さまざまな感情をもった人たちが、一つの目的に向かってつながることができればと思ってきました。そうすれば、もっと住みよい地域になり、住民一人ひとりが豊かに暮らしていくことができると思えます。どうか今年がよい年となりますように。(地域生活サポートネットほうぷ 向井裕子)

# 旭区ふれあい広場



日時：2018年11月17日（土）11：00～15：00

ほうぶの参加者：こども10名、学生ボランティア10名

主催：旭区社会福祉協議会

今年も、ふれあい広場に参加しました。これまでは、子どもたちが作成したものを販売してきましたが、七宝焼きやさりを織りは高いこともあり売れ行きがよくなり、地域の方々との交流という目的が十分に果たせなかったため、今回はゲーム屋さんになりました。子どもたちと相談して、「モグラたたき」と「的当て」を作り、出店をしました。段ボールやペットボトルを材料にして、モグラは子どもたちが動かさず、手作り感いっぱいゲームです。得点順位を貼りだしたり、参加賞にシールを渡したりと工夫をしました。1回50円という設定にして、会場内やお店の近辺で子どもたちが無料チケットを配るようにしました。結果、収入は0円で終わりましたが、幼児と保護者を中心にのべ120人のお客さんがあり大繁盛でした。つまり、120人の方にチケットを配り、120人の方とゲームに関わったこととなります。準備が大変で反省点もたくさんあったのですが、ゲームは大好評でした。子どもたちは、ボランティアのお兄さんやお姉さんと一緒に、お店当番と、会場めぐり&チケット配りをして楽しみました。来年もゲームで参加しようと思います。

## <ボランティアの感想から>

- ・初めてのほうぶでの活動で緊張しっぱなしの一日でした。旭区民センターではモグラたたきとボール当て（的あて）をしました。A君はよく話しかけてくれていたので楽しく活動できました。店番は時々サボったりしていましたが、よく手伝ってくれました。
- ・あまりゲーム内容等を知らなかったため心配でしたが、楽しむことができました。遊びに来た小さい子たちにとっても癒されました。今日は、Bちゃんの担当でした。自分から積極的に活動に参加してくれて助かりました。知り合いの方もたくさん来ていたみたいで、自分から挨拶に行っていて、しっかりしているなあと思いました。
- ・今回、初めてほうぶに参加したのですが、非常にやりがいを感じて楽しく活動することができました。Cさんと一緒にたこせんを食べて楽しみました。また参加したいと思いました。
- ・ふれあい広場ではとてもたくさんの子どもたちが来てくれて、ほうぶの子どもたちも頑張って接客してくれていて安心しました。子どもたちと触れ合っていく中で、最後、仲良くなれたので、とてもうれしかったです。今日心を開いて色々喋ってくれたので、次は来た時に覚えてくれる様になりたいです。



# 放課後等デイサービス「楽童ほうぶ」報告

楽童ほうぶに通っている中高生には学校の部活動に参加するように勧めていますが、なかなか参加できない子どもたちもいます。子どもたちの中から、「ほうぶで部活動をしたい」という声が上がリ、子ども主体で部活動が始まりました。演劇部は、演劇をやっている職員がサポートし、空手部は大学生さんがボランティアで指導してくれています。時々、筋トレ部が思いついたように出現し、輪になって筋トレをしていることもあります。学校で友だちとの関わりが十分にできない子どももいるので、友だちと意見交換をしたり、自分の考えを伝えたりがなかなかうまくいきません。能力にも差がありますから、時にぶつかる場面もあります。ぶつかり合いながら、人と関係を築くことを学んでいってほしいと思います。また、友達と一緒に力を合わせ達成感を感じる機会にもなってほしいです。

職員は、秋から冬にかけて、子どもの権利に関する内容、発達障害の子どもに対する技術に関する研修、子どもの居場所づくりに関する研修など、たくさんの研修を受けました。子どもそれぞれについての意見交換もよく行っています。前向きな思いで仕事に取り組んでいます。バイトさんに対しても、11月に研修会と懇親会を開催しました。2月には虐待防止の職場内研修を行う予定です。職員の質の向上にも努めていきます。

9月は「なんばおにごっこ」に参加、10月は「大阪経済大学の大学祭」へ、11月は千里金蘭大学の学生さんが来所して「音楽会」、12月は「クリスマス会」に地域の方々をご招待、そして、区主催の「和んで座談会」に参加。障害当事者の方々、大学生や地域の方々との交流をたくさん行いました。地域に根付いたデイでありたいと思います。



## なんばおにごっこに参加

日程：2018年9月29日（土）

参加者：子ども6名、ボランティア5名

行き先：ほうぶ～なんば～ほうぶ

バリアフリーチェックをしながら難波の街を楽しむ「なんばおにごっこ」のイベントに参加しました。登校日の学校があり参加者が少なく、天気はあいにくの雨でしたが、チームに分かれて、難波の街をゲームをしながら回って楽しみました。

### <ボランティアの感想から>

- ・たくさん歩き回るのでしんどい子もいるのかなと思っていましたが、それぞれのチームのペースで歩き回っていたので良かったと思います。歩き回る中で、ポイントのところを回るだけでなく、なんばの観光もできたので良かったのかなと思います。
- ・Aちゃんは、始めは行くのがめんどくさいと言ってたけど、行ってみると楽しそうにしていたので良かったです。特にゆるキャラの事を気に入ったみたいでたくさん写真を撮ってもらってうれしそうでした。私も久々にたくさん歩いたので楽しかったです。





## 大阪経済大学の大学祭へ

日程：2018年10月27日（土）

参加者：子ども11名、ボランティア8名

行き先：大阪経済大学

昨年に続き、ボランティアによく来てくれている大阪経済大学の学生さんたちのご招待で、学祭に行ってきました。子どもたちは、店を回って、美味しいものを食べたり創作やゲームをしたりして楽しみました。大学の雰囲気も感じてくれたと思います。

### ＜ボランティアの感想から＞

- ・2回目のほうぶでの活動だったのでみんな話しかけてくれて嬉しかったです。学祭という開けた自由な所だったので子どもたちも活発にはりきっていて色々な表情が見れました。食べる物も自分で選ぶということで自分の意思を示すことができる機会だったと思いました。班行動だったので、他の人のことを考えて行動することもできて良かったです。
- ・今回はAちゃんとペアで大経大の学祭に参加しました。以前のイベントの時、あまりお話しできなかったのが不安でしたが、楽しく参加できました。



## 千里金蘭大学の学生さんによる音楽会

日程：2018年11月24日（土）

参加者：子ども9名、ボランティア7名

千里金蘭大学の伊原木幸馬先生と子ども音楽実践演習を受講している児童教育学科2年生7名がほうぶにてコンサートをしてくださいました。演奏や合唱など5曲を披露してください、子どもたちが参加するプログラムもあり、子どもたちは楽しく参加していました。

### ＜学生さんの感想から＞

- ・訪問前は、楽しんでもらえるか、失敗したらどうしよう、など不安でした。しかし、実際に訪問子どもたちに会ってみると、音楽に合わせてリズムをとったり、歌を口ずさんでくれたりして楽しんでくれました。とても嬉しかったです。
- ・今回のコンサートを通して自分たちで企画や準備をすることの大変さを学ぶことができました。この経験を今後活かしていきたいと思いました。



## クリスマス会

日程：2018年12月22日（土）

参加者：子ども10名、ボランティア7名、ご家族や先生や地域の方々15名

クリスマス会：14時～16時



今年のクリスマス会は、演劇部と空手部、土曜日開催の音楽会のメンバーによる合唱や、それぞれの子どもの特技や歌やダンスのパフォーマンスなど、ほうぶ発表会をご家

族や地域の方々に見ていただきました。司会も子どもが行いました。スタッフは黒子でした。その後、子どもたちとご家族でクリスマスケーキを作って、和やかにおしゃべりをしながら食べました。

演劇部は、9月からクリスマス会に向けて準備を始めました。自分たちで脚本から演出、小道具作りととても頑張りました。初めての体験なので、いろんな段取りに時間がかかったり、準備や片付けがめんどくさくなったり、部員の中でぶつかり合って涙したり、ほめあったりしていましたが、本番が一番よくでき、幕が下りた後、感動して抱き合って泣いていました。空手部は大阪工業大学の学生松本さんが稽古を指導してくれ、本番の準備も念入りにしてくれました。

それぞれの子どものパフォーマンスは、希望した子どもだけが、自分のしたい内容や曲をスタッフに伝えて準備し、歌や踊りを堂々と披露してくれました。絵画パフォーマンスをする子どももいました。クリスマス会の中で大きな紙に絵画を描いてもらおうと思ったのですが、時間が限られていますから、事前にビデオを撮り早送りをしてもらいました。会場からは感動のため息。スタッフは何度見ても感動モノでした。

音楽会メンバーによる合唱は、2年間、毎月、音楽会をしてくれた武庫川女子大学の学生山上さんの指導で練習をし、当日も生のピアノ演奏で合唱しました。練習の時は声が小さくて心配したのですが、本番は今までで一番良い出来でした。最後にみんなで合唱をしました。見に来てくださった皆さま、本当にありがとうございました。



#### ほうぶクリスマス会 プログラム

##### 第一部

空手部 による 演舞  
みんなで遊ぼう  
演劇部 による 活動発表

##### 休憩

##### 第二部

こどもたち による パフォーマンス  
合唱 「HIKARI」「かいじゅうのバラード」  
みんなで歌おう 「ジングルベル」

##### 発表終了

##### 大阪経済大学企画

みんなでクリスマスケーキを作ろう



#### <ボランティアの感想から>

- ・ほうぶのクリスマス会は3回目です。今回は、演劇部が練習の成果を発揮して、すごい劇をしていてよかったです。本番までにいろいろなことがあり、劇ができないかもしれないという危機を乗り越え、最後はみんなで力を合わせて発表した姿は立派でした。終わった後にみんながお互いのことをたたえあっていた姿がすごくよかったです。毎年のことですが、パフォーマンスは恥ずかしがらず堂々と楽しんでやっている姿は、自分も見習わないといけないと思います。
- ・大経大のボランティアサークルの代表が、今回のイベントから交代でしたが、スタッフと話し合っ準備をしてくれ、今日もしっかりとまとめてくれていたので、これからも頑張っ

ほしいと思います。去年のクリスマス会に比べ、個人の発表もたくさん見ることができ、すごく楽しかったです。(前代表の学生さん)

- ・ ケーキ作りの班が男しかいなかったのも、豪快な出来になりましたが、楽しかったので良かったです。
- ・ ケーキ作りの準備などで所々しか見ることができなかったのですが、みんなの劇や歌はクオリティが高くびっくりしました、特に合唱の「HIKARI」は個人的にすごく感動しました、ケーキのデコレーションは段取りが悪かったのを皆さんが協力してくれて本当に助かりました。子どもたちも喜んでくれ良かったです。(新代表の学生さん)

### ＜見学者の方々の感想から＞

- ・ 子どもたちが自分に自信をもって楽しんでいるように思いました。スタッフの皆さんも楽しくかかわられているのですね。私も楽しい時間を過ごさせていただきました。子どもたちに幸多きことを祈ります。
- ・ 大学生やスタッフの方々、舞台の照明やカーテンの舞台装置、素晴らしいことでした。一年一年、子どもたちの成長に涙が出ました。とても素晴らしいひと時でした。
- ・ ほうぷさんに子どもが通うようになって5年ですが、自分の子どもだけでなく、他の子どもたちにも毎日のようにお会いしてきて、本日、皆さんの成長をととても素晴らしく思いました。これからもきっと成長していかれることを心より願います。本日はありがとうございました。私の希望になりました。
- ・ 本当にみんなの成長と年々クオリティが高くなっていくのを感じました。スバラシイ！ 毎年、家族で楽しい時間を過ごせるほうぷのクリスマス会♪ ありがとうございます。



## 「和んで座談会」に参加

日程：2018年12月26日（水）

参加者：子ども7名、ボランティア8名

主催：旭区地域自立支援協議会 会場：旭区民センター大ホール

2005年から旭区のアクションプランの中で取り組まれていた区民主体のイベント「和んで座談会」は、アクションプランが終わると公的な支援もなくなり、数年前に消滅していました。今回、旭区地域自立支援協議会主催で復活をしたので、参加をしました。

午前中は座談会に参加して、「災害がおきたらどないしょ！？ ～皆で考えよう 障害のある人の防災～」をテーマに、グループで話し合いました。とはいえ、意見交換ができる子どもたちばかりではありません。でも、その場に居ることが大切だと考えて参加をしました。60名近くの参加があり、地域の方々とつながる



機会になりました。お昼は、いろんな事業所が出しているお店を回り、午後はボッチャに参加して楽しみました。いろいろな方が参加していて楽しく交流できました。



## ● 地域活動報告 ●

- 10月16日(火) 旭区子育て安心ネットワーク会議に参加  
モデル地域(町)の安心ネットワークの取り組み報告
- 10月20日(土) 地域活動協議会と旭区役所の懇談会に参加  
ワークショップ形式で地域活動協議会の取り組みについての検討会
- 10月25日(木) 地域活動協議会開催 世代間交流「お楽しみ劇場」に協力
- 10月27日(土) 地域活動協議会 行事などの活動報告会に参加
- 10月30日(火) 旭区地域自立支援協議会こども部会に参加  
「就学進学なんでも相談会」「子育て応援セミナー」総括と次年度に向けて
- 11月14日(水) 旭東人権教育ネットワークの研修会に参加  
「中学卒業後の進路について」の研修会
- 11月21日(水) 子育て支援情報収集に町内の小学校・保育所・幼稚園を訪問  
旭区地域自立支援協議会に参加
- 12月7日(金) 旭区子育て支援「あさひの輪」に参加  
情報交換と意見交換
- 12月9日(日) 地域活動協議会 防災部会委員打合せに参加
- 12月17日(月) 地域活動協議会 子育てサロン クリスマス会に協力
- 12月18日(火) 和んで座談会の準備&打ち合わせに参加



11月初めに娘が所属している劇団「態変」の東京公演があり、連休の2日間行ってきました。演目は大阪でも上演した「ニライカナイ」ですが、演出や役者の変更がありました。5回公演で800人以上の観客を動員した公演は、素晴らしくて、私は2回も観劇しました。言葉の理解が難しい娘に演出が伝わっていることにも驚きました。可能性は無限です。手足の無い娘の身体が、その演技が、涙が出るほどに美しかったです。涙をぬぐう観客もいて単なる親ばかりではないと思いました。それは、神々しい命の塊のようでした。ここに居ること、生きて居ること、それ自体が尊いのだと改めて思いました。無駄な命などないのだとあらためて思います。

みなさまにとって幸多い年となりますように。

